

## ディスクロージャー基本方針

### 1. 基本方針

当社は、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に当社を理解いただき、信頼をいただけるように活動し、有効と思われる企業情報を適時、適切で公平に開示することにより、企業価値を適切に資本市場の評価に反映させるよう努めます。

### 2. 開示情報

- (1) 金融商品取引法などの関連法令や上場取引所の定める適時開示規則に則った情報
- (2) 個別事業に関わる重要情報や営業秘密に関する情報を除いて、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にとって有用であると判断される情報

### 3. 情報開示の原則

#### (1) 透明性と説明責任

開示内容が当社に有利か不利かを問わず事実即した開示の透明性に努め、説明責任を全うします。

#### (2) 関連法令および規則の遵守

金融商品取引法などに基づく法定開示制度や、東京証券取引所が定める適時開示規則を遵守します。

#### (3) 適時の開示

情報の開示は、開示すべき事実が発生した後、適時に開示します。

#### (4) わかりやすい開示

ステークホルダーだけでなく、多くの人に伝わることも考え、わかりやすく情報を開示します。

#### (5) 公平性の確保

個人投資家、機関投資家やアナリスト等の間の情報アクセスの公平性確保に努めます。一部の資本市場参加者のみに選別的に開示されないようフェアディスクロージャールールに則り情報管理を徹底します。

#### (6) 機密性の確保

適切かつ公正な開示が行われるまでは、重要な情報を厳重に管理し、一定の守秘義務契約などにより秘匿性が担保されている場合を除き、関係者以外の第三者（当社役職員を含む）への情報漏洩を防止します。

#### 4. 情報開示方法

- (1) 株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程及びこれに関する規則に該当する情報は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TD net）を通じて行います。
- (2) 上記以外にも、投資判断に影響を及ぼすと思われる情報は、その重要度および緊急性に応じて、適宜、プレスリリースの配信、記者会見および説明会等を通じて速やかに開示します。
- (3) 上記（1）および（2）により開示された情報は、開示後速やかに当社WEBサイトに掲載します。ただし、本Webサイトには当社が開示している情報が全て掲載されているとは限りません。また、他の方法で開示された情報とは異なった表現をしている場合もあります。

#### 5. 将来の見通し

当社が開示する将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手している情報と合理的と判断する一定の前提に基づいて当社が予測したものです。

公表時点から業績に変動を与える事情が生じた場合は、速やかに将来予測情報の見直しを行います。

実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があります。

#### 6. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、当該四半期末日の翌日から当該四半期決算発表日までの期間を沈黙期間と定め、原則として決算に関する質問への回答やコメントを控えています。

ただし、この沈黙期間中でも業績予想と実際の業績の間に大きな差異が生じる見込みが出た場合には、開示規則に従い適宜公表します。

#### 7. 第三者への情報と第三者による情報

当社は、機関投資家、アナリスト等との個別ミーティングでは、既に公開された事実、周知の事実、あるいは一般的なビジネス環境等の情報などを言及します。

当社は、当社に関する第三者によるいかなる予想、コメントなどについては一切責任を負いません。